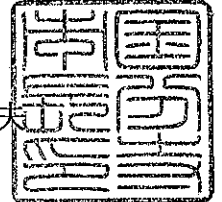




国都建収第23号  
平成19年5月8日

国土交通省  
道路局長 殿

国分寺市長 星野信夫



中期的な計画の作成にあたっての意見提出について（回答）

貴職におかれましては、当市の道路建設行政に対しご理解、ご協力を賜り深く感謝申し上げます。

標記について、別に意見等文書を添えましたので、よろしくお取り計らいください。

連絡先

国分寺市都市建設部建設課

庶務係 担当 山田

電話 042-325-0111 内線506

FAX 042-328-1823

Eメール kensetsu@city.kokubunji.tokyo.jp

## 1 道路特定財源の存続について

道路特定財源は、多摩の良好な街づくりのための道路整備において極めて重要な財源であります。昨年、政府は「道路特定財源の見直しに関する具体策」を閣議決定し、道路歳出を上回る税収は一般財源とすることとしました。言うまでもなく、この道路特定財源制度は受益者負担・原因者負担の考え方に基づいたものであり、市町村にとっては道路整備を行う上で無くてはならない重要な財源となっています。

当市における都市計画道路の整備率は多摩地域で最低の水準であり、多摩地域の道路整備の実態を見ると、都市計画道路の完成率では概ね51%という状況であります。このため日常的な交通渋滞に悩まされています。南北道路を中心とした道路整備は差し迫った課題であります。

また、多摩地域ではJR中央線・南武線及び京王線の鉄道連続立体交差事業、多摩都市モノレール整備事業、多摩川架橋整備事業、土地区画整理事業などを積極的に促進しています。とりわけ南北交通の隘路となっている踏切の解消と良好な街づくりの促進を図るため、鉄道連続立体交差事業を計画どおり完成させる必要があります。

当市に限らず多摩地域では、大都市交通問題解消のための交通基盤整備が急務であり、真に必要な多摩地域の道路整備を計画的に進めるため、道路特定財源の確保と重点配分を強く望むものであります。

## 2 道路照明灯設置の補助強化について

当市内の交通安全確保及び道路上の防犯対策上、道路照明灯の設置は不可欠であり、また市民からの要望も多く寄せられており、市としてもこれらの対応を今後とも必要と考えている状況下のため、更なる補助強化を図っていただきたい。

## 3 中長期的道路整備の考え方について

### 1、求められる将来像

私たちのまち国分寺は、国分寺崖線や湧水群、史跡武蔵国分寺跡、人々の暮らしの中から生まれた農のある、緑豊かな住宅都市として発展を続けています。

また、様々な分野における市民活動の盛んなまちであり、鉄道交通の要衝として多くの人が集うまちでもあります。

このような可能性に富んだ国分寺市の将来に大いなる希望を抱き、平成19年度から10年間の国分寺市の基本方針である第四次国分寺市長期総合計画を策定し、「健康で文化的な都市 ー住み続けたいまち、ふるさと国分寺ー」を都市の将来像として掲げ、今後10年間のまちづくりを進めてまいります。

都市基盤整備については、「環境を守り、向上させるとともに、環境負荷の少ない機能的な都市基盤整備を図り、市民が安全・快適に暮らせるまち」の実現を目指してまいります。

そのために、「安全快適な交通環境の創出」を重点目標とし、「自動車交通を円滑に処理し、都市環境や防災の維持・向上に寄与する、安全・快適で安心して通行することができる道路ネットワークの形成」の推進をしてまいります。

## 2、現 状

既存の幹線道路の多くは、車社会が形成される以前の道路を基本としたものがほとんどで、道路幅員が狭く、歩道幅員が狭小なもの、未整備なもの等、幹線道路としての十分な機能を満たしていない状況です。

また、都市計画道路については19路線、約33kmが計画決定されていますが、整備が完了したものは約4km強で、整備率が約13%となっており、多摩地域の51%と比較しても遅れた状況にあります。

## 3、課 題

これらの幹線道路に自動車交通が集中し、渋滞の発生や公共交通機関の定時制の確保が難しい状況であり、幹線道路の不足や幅員が狭いこと等から公共交通の運行ができない地域も多く、交通不便地域の解消ができない状況です。

また、歩道が未整備で歩行者、自転車利用者等の移動の安全性・快適性の確保にも問題が生じています。

さらに、渋滞を回避した通過交通が生活道路に流入することから、生活圏の安全性等、生活環境に多くの負の影響を与えています。

## 4、整備の方向性

課題の改善を図るため、第四次長期総合計画においては、18年4月に東京都・28区市で策定した「多摩地域における都市計画道路の整備方針（第三次事業化計画）」に即して都市計画道路の整備促進を図り、自動車交通の円滑化と併せて質の高い歩行空間や安全な自転車通行空間の確保を進めるとともに、既存の主

要な幹線道路においては、交差点改良、歩道設置、電線地中化等を推進し、交通の円滑化、歩行者等の快適性・安全性の確保や防災性、景観性の向上等の実施を位置づけておりますが、厳しい財政状況下の中で、対応は限られたものとならざるを得ません。

#### 5、道路整備等、都市基盤整備等への要望

道路は、都市住民の日常生活における安全・快適を確保するためにはなくてはならない財産であり、また、災害時においては人の生命を守る貴重なライフラインであります。

将来にわたり、市民が「住み続けたいまち、ふるさと国分寺」を実感していくためには、環境を守り向上させるとともに、環境負荷の少ない機能的な都市基盤整備を図り、市民が安全・快適に暮らせるまちづくりが不可欠であり、自動車交通を円滑に処理し、都市環境や防災の維持・向上に寄与する、安全・快適で安心して通行することができる道路ネットワークの形成の推進が急務であると考えます。

特に首都圏を中心とした大きな震災が予測される今日、一人でも多くの人命を守るためには、主要となる道路の計画的な整備は不可欠であると考えており、円滑な道路整備を実施していくためにも、財源の確保は重要な課題であります。

道路特定財源の確保・活用により、補助率の引き上げや、事業費の多くを占める用地買収費、補償補填費等への重点的配分等をして頂き、早急な道路整備を進められるよう要望します。

# 国分寺市における中期的道路整備関連計画一覧

## 第四次国分寺市長期総合計画抜粋

国 分 寺 市

## はじめに

私たちのまち国分寺は、国分寺崖線や湧水群、史跡武蔵国分寺跡、人々の暮らしの中から生まれた農のある、緑豊かな住宅都市として発展を続けています。

また、様々な分野における市民の活動の盛んなまちであり、鉄道交通の要衝として多くの人が集うまちでもあります。

このような可能性に富んだ国分寺市の将来に多くなる希望を抱き、平成19年度から10年間の国分寺市の基本方針である第四次国分寺市長期総合計画を策定し、「健康で文化的な都市 ー住み続けたいまち、ふるさと国分寺ー」を都市の将来像として掲げ、今後10年間のまちづくりを進めてまいります。

この「国分寺市における中期的道路整備関連計画一覧」は第四次国分寺市長期総合計画のなかから、将来像の実現に向けた計画の重点目標、個別目標及び施策について、道路・交通関連整備に関する事項を抜き出したもので平成19年から28年の期間における本市の道路関連の中期的な整備計画の概要となります。

## 重点目標

### 1) 地域特性豊かな都市環境（景観）の形成

「国分寺の多様な魅力を演出する美しいまちを育てるため、歴史文化を継承・創造し、緑と水が生活に潤いを与え、誰もが健全で、安全・快適に暮らせるまちづくりの推進」

### 2) 安全かつ快適な交通環境の創出

「快適な住宅都市の環境をつくるための、交通の円滑化、安全性の向上、地域の発展、利便性の向上、災害に強い骨格となる道路網の形成を図る。事業中の都市計画道路の早期完了並びに事業化の推進、ゆとりある歩行者空間の確保、交通安全施設の事業を推進」

### 3) 市街地整備の計画的な推進

「駅周辺を商業地域として魅力ある環境を備えると同時に、地域の顔や地域交流の舞台、多くの市民が集い、賑わう場としての整備をすると共に都市の安全性・快適性の向上を図り、住環境との調和に配慮した、自然環境と歴史資源を活用したまちづくりが必要で、駅周辺整備は、駅前地区と駅周辺地区という総合的な視点に立った整理を行い、各種事業手法と規制誘導手法を組み合わせ、効果的・効率的に推進する」

## ○重点目標と

- ☆重点目標を支える個別目標
- ・個別目標毎の主な施策

## ○地域特性豊かな都市環境（景観）の形成

### ☆道路景観の整備

- ・電線・電柱の地中化
- ・街路樹を活かした景観形成

### ☆散策路整備

- ・古道を活かした散歩道の整備
- ・こくぶんじ恋のみち（散策路）の整備

## ○安全かつ快適な交通環境の創出

### ☆都市計画道路整備

- ・道路網の形成（18年4月に東京都・28市区で策定した「多摩地域における都市計画道路の整備方針（第三次事業化計画）」に即して、都市計画道路の整備促進）

- ・都市計画道路整備にあわせた質の高い歩行空位間の確保

#### ☆既存の主要幹線道路

- ・交差点改良
- ・景観・街並み等への配慮が求められる地域での無電柱化
- ・道路機能や沿道環境をまもる上からの適切な維持管理

#### ☆生活道路

- ・通学路における児童等の安全性の向上を図るための歩道整備
- ・地域の生活環境に配慮した適切な維持管理

#### ☆J R 中央線の輸送力強化と交通の利便性の向上

- ・J R 中央線の輸送力強化と交通利便性の向上を図る
- ・沿道地域の一体化による地域の活性化を図る
- ・バス路線の充実を図る

### ○市街地整備の計画的な推進

#### ☆交通の利便性や防災性の確保

- ・都市計画道路網の形成
- ・駅前へのアクセス道路の整備
- ・駅前駐輪場の整備

#### ☆バリアフリー、回遊性、歴史遺産や自然環境との調和、景観、防災への配慮したまちづくり

#### ☆国分寺駅北口再開発事業の施行に併せた再開発地区周辺の良い市街地整備

#### ☆都市計画道路3・2・8号線沿道のまちづくり推進

- ・主要骨格軸・水と緑の軸としてふさわしいまちづくりの推進
- ・道路整備と一体となった周辺のまちづくり（沿道道路網の形成）